

発言

患者さんの苦情
真摯に受け止め

静岡県薬剤師会副会長

三浦 正人

十五日付「発言」欄に、「無神経な薬局 大声で「病名」との投稿がありました。若い男性の薬剤師に大きな声で病名を言われたとのことで、さぞ不快な思いをされたことと存じます。

患者さんは、常に薬局スタッフの行動を観察されています。何げない言葉や行動、態度が患者さんの心を

傷つける場合がありますので、言動には十分注意を払わなければなりません。特にプライバシー保護に関する無神経・無頓着・無配慮はもつてのほかであり、われわれ薬剤師は、患者さんの苦情や意見を真摯に受け止め、謙虚に反省しなければなりません。

静岡県薬剤師会といたしましては、薬局・薬剤師業務の改善や患者さんの立場に立ったサービスの向上を図るべく、より一層の会員への指導に努めてまいります。